

底屈制動装具Gaitsolutionを 臨床で活用するための理論と実践

～ 短下肢装具にフォーカスして ～

2026.3.7sat

セミナー形式 zoom ウェビナー

参加費 2,200円 (税込)

申込締切 2026年3月3日 (火)

講師

山本 澄子 先生

国際医療福祉大学大学院
保健医療学専攻
福祉支援工学分野 教授



講師

田中 惣治 先生

新潟医療福祉大学
リハビリテーション学部
義肢装具自立支援学科 講師



Gaitsolution の開発者である本セミナー講師山本澄子先生が開発当初よりご紹介されている歩行評価の視点「ロッカーファンクション」、そして装具の機能「底屈制動」は、山本先生ご自身の他多くの方々により報告、検証、議論をされながら発展し、現在では脳卒中歩行リハビリテーションにおいて主要なトピックの一つとなっています。

本セミナーでは山本澄子先生、及び、研究、臨床の両面でGaitsolution に造詣の深い新潟医療福祉大学田中惣治先生より、Gaitsolutionの機能的特長や臨床での活用について、Gaitsolution の原点であるバイメカニクスからの視点を中心に講義頂きます。

また、プログラムでは質疑応答に時間を多く割き、参加者の日々の疑問やお悩みを解決する場とも致します。

Gaitsolution を臨床場面でどのように活用できるのか、ご興味のある方やお悩みの方、その他脳卒中リハビリテーションに関わられている多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

- 13:00-13:05 開始・挨拶
- 13:05-14:05 山本先生ご講義
バイオメカニクスから見た脳卒中者の歩行とGaitsolutionの働き
- 14:05-14:15 休憩
- 14:15-15:45 田中先生ご講義
脳卒中リハビリテーションにおけるGaitsolution活用のポイント
～ 研究、及び臨床的知見より～
- 15:45-15:55 休憩
- 15:55-16:55 質疑応答
- 16:55-17:00 終了挨拶

申込はこちらから

